蒲菖 趣味を共有する仲間に

シルバー人材センター女性部会「手芸教室」

久喜市シルバー人材センター女性部会は毎月第1木曜日に「手芸教室」を菖蒲老人福祉センターで開いています。

部会長の内藤洋子さんの手芸作品を見た仲間から「私もやってみたい」という声が上がり、希望する部員で約3年前に発足。内藤さんは「手芸は年を取って体が動かなくなってもできるし、指先を動かすから脳の刺激にもなるのでいいかなと思って」と笑顔で話します。

最初は作りたい物を自由に作っていましたが、途中から内藤さんの近所に住む、編み物が得意な岩野久恵さんがボランティアで教えるようになりました。岩野さんは「夫がシルバーのグラウンドゴルフで皆さんにお世話になっているので、お互いさまです。教えるというより、自分の知っていることをお裾分けするような感じ」と話します。

活動は自由参加。ラペンダーを入れた匂い袋やえとの人形など、作る物は季節や進行状況に合わせて岩野さんが決めており、現在は座布団を制作中です。各自が自分のペースで作り、岩野さんが様子を見てアドバイスします。

座布団など作品とメンバーの皆さん

メンバーの金子幸子さんは「みんなで集まって好きなことをできるのがいいですね。最初は自己流でやっていましたが、先生が色々教えてくれてよくわかるようになりました」と話します。

「作品展で見てもらえると励みになり、作るのも頑張れます。先生が詳しく教えてくれ、仲間もいて、会長が引っ張ってくれるから続けられています」と酒井きよ子さん。岡野瑞恵さんは「何回聞いても先生が根気よく丁寧に教えてくれ、そのおかげで自然と覚えられます。苦労して作った分、作品が完成すると愛着が湧きますね」と笑顔を見せます。

内藤さんは「シルバーは仕事だけじゃなく、趣味を共有したり仲間を作ったりすることもできることを知ってもらえれば。興味のある方はぜひご参加ください」と笑顔で話しました。